

山本大臣への申し入れについて、コメントがかなり届いていますので、経過をお伝えします。

大変お世話になりました。大臣には、東京入港マグロ船検査一覧表などの資料を示し、当時の水産庁が操業注意指示を出さなかったために被災したことを理解してもらったと思います。これで県や市町村の関係者が協力しやすくなったと思います。9月議会で全県の市町村議会決議につなげます。厚労省船員保険部への対応をどうすべきか相談中です。山下正寿

高知民報記者コメント――この面談では、山本氏の発言部分はクローズされて報道は退室させられました。面談終了後の山本氏のコメントは以下。「60年前にマグロ船で核実験の危険区域で操業していた体験、困難を克服して頑張っている姿に感動した。同時に高知県庁が健康被害に対してよりそう形で様々な施策を展開している。支援ができればと思う。ただし、これは損害賠償請求を高知地裁にしているので、すぐれて事実認定は裁判の場ではかられるものと思っている。裁判の結論を待ちながらしっかり見つめていきたい」

大臣は「会ってきました。県の職員も同席しました。高知県は被害に寄り添って相談会を開くなど努力をしている。紙智子議員の質問があったから会うことになった。あらためてNHKスペシャルを見た。山下さんが、客観的に、エビデンスを明らかにしようとしていることは、大事だと思った。自分も力になりたいと思う」と言ったようです。

田井 共生・紙智子議員秘書